

第30回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

【発表No. A04】

論文No.	A04
タイトル	錦海ハビタット：瀬戸内 Kirei 太陽光発電所建設における湿地再生
所属・名前	清水建設株式会社 橋本 純 清水建設株式会社 岩井 豪 中電技術コンサルタント株式会社 前川 尚嗣 東洋エンジニアリング株式会社 大桐 俊幸
キーワード	① 生物多様性 ② 湿地再生 ③ グリーンインフラ
<p>「錦海ハビタット」は、岡山県瀬戸内市に位置する瀬戸内 Kirei 太陽光発電所建設の機会を活用して創出した湿地環境である。約 500ha の面積を持つ対象敷地はもともと錦海湾の一部であった。1962 年干拓工事終了後に塩田事業が開始されたが、製塩技術の更新に伴い 1971 年には閉業した。その後、敷地の一部のみが産業廃棄物最終処分場として使用され、その他のエリアは放置された状態が続き、堤防を通して流入する海水と上流からの雨水が混ざり合う塩性湿地が形成されるなど独特の環境が形成された。本稿では、エコロジカル・ランドスケープデザイン手法を使って衰退しつつある湿地環境の一部を再生し地域の生物多様性空間創出と太陽光発電所開発の両立に寄与した取り組みを報告する。</p>	